

平成 25 年度総合防災訓練の実施について

1 目的

大規模地震が突然発生した場合における発災直後から応急対策までの防災訓練を行い、市の防災計画などの検証や県・市・防災関係機関・自主防災組織等の連携強化及び地域の防災体制の確立を図るとともに、これらの訓練を通じて、市民一人ひとりの「自らの命は自ら守る 自らの地域は皆で守る」という防災意識の高揚と災害に対する知識と災害対応能力の向上を図る。

2 実施日

平成 25 年 9 月 1 日（日） 午前中

3 参加機関

県、市、防災関係機関、自主防災組織、家庭、事業所、学校、病院など

4 訓練想定

駿河トラフから南海トラフにかけての巨大地震が突然発生し、県内各地で震度 7 を観測、その数分後に津波が襲来し、県内全域で甚大な被害が発生した。県・市町などは直ちに災害対策本部を設置して対処にあたる。

5 防災訓練スケジュール

9 / 1 午前 6 時 50 分	同報無線で訓練実施（中止）のお知らせ
午前 9 時 00 分	訓練地震発生 「サイレン 1 分間吹鳴」
午前 9 時 05 分	訓練大津波警報発表 緊急速報メール配信
正午ごろ	同報無線で訓練終了のお知らせ

本部運営訓練については別添 1 参照

医療救護訓練（救護所開設運営訓練）については別添 2 参照

6 重点項目

- (1) 市民の防災意識の高揚と防災知識の向上
- (2) 建物倒壊、津波・山崖崩れ危険地域など地域の災害の特性を踏まえた実践的な避難訓練
- (3) 防災関係機関及び自主防災組織の防災体制の確認、住民広報、情報収集・伝達訓練
- (4) 自主防災組織、消防団、事業所、ボランティア団体等との協働による地域防災力の強化

牧之原市災害対策本部訓練実施計画

25. 8. 6
防災監

1 目的

牧之原市災害対策本部勤務者に対し、大規模地震発生時における発災直後から応急対策までの災害対策本部訓練を実施して、対策本部の活動業務及び情報連携について理解を深めるとともに災害発生時における迅速・的確な災害対応能力の向上を図る。

2 主要訓練項目

災害対策本部活動の模擬体験(イメージアップ)

- (1) 発災初期における情報活動要領
- (2) 被害状況に応ずる応急対策の検討要領
- (3) 災害対策本部会議の運営要領

3 訓練実施要領

(1) 実施日時・訓練会場

ア 実施日時：平成25年9月1日(日) 09:00~12:00

イ 訓練会場：榛原庁舎4F、各地区(地区担配置)

(2) 訓練編成

ア 災害対策本部編成表における班長職以上及び総括班、情報班、広報班、地区担当班の職員をもって、訓練災害対策本部を編成する。

イ 訓練企画統制班を編成し、訓練の企画・運営・統制及び状況付与を実施する。

ウ 訓練編成表のとおり。

(3) 服装等

防災服・ヘルメット「地震災害行動マニュアル」持参(全庁データ 防災-09地震災害行動マニュアル)

(4) 訓練方式

ロールプレイング方式(役割演技方式)

(5) 訓練の進行要領

ア 進行は、災害対策本部(各班)に対する状況付与班(模擬関係機関等)からの被害状況や活動状況の付与により進行する。

この際、災对本部訓練は、市の総合防災訓練状況とは切り離して実施する。(視察督励なし)
(地区担情報及び医療救護訓練の一部はリンクする。)

イ 訓練の時間経過比率は1:2(実時間:訓練時間)として進行する。

ウ 訓練の状況開始は、発災後1時間経過し、災害対策本部の全職員が参集した状況から実施する。

エ 訓練終了後、軽易な所見発表(本部員、代表班長)と本部長講評を実施する。

オ 各部・班は検討会(反省会)を実施し訓練成果を危機管理室に提出するとともに、市総合防災訓練検討会に参加し、課題等を審議する。

カ 「訓練進行予定表」のとおり。

4 訓練計画

(1) 訓練想定

ア 遠州灘沖を震源とするM8(最大震度「6強」)の地震が発生したとの想定で、地震発生直後から概ね4時間経過頃までにおける、牧之原市災害対策本部の活動について訓練を実施する。

イ 別紙第5「訓練想定」(別途配布)

(2) 状況付与

ア 状況付与計画に基づき、電話及び状況付与票等により、各班に対し逐次状況を付与する。

イ 「状況付与計画」のとおり。

5 訓練準備等

(1) 会場準備

8月30日(金)に完整し、施設点検及び訓練予行を実施する。

(2) 訓練実施内容の事前説明

訓練参加職員に対する事前説明を実施して、訓練への参加意識の高揚を図るとともに訓練実施成果の充実を企図する。

平成 25 年度 牧之原市医療救護訓練 概要

- 1 **日時** 平成 25 年 9 月 1 日（日） 午前 7 時から午後 12 時 15 分まで
雨天実施、災害発生時は中止
救護所開設予定時間 = 午前 9 時 45 分から午前 11 時 15 分まで
- 2 **会場** 坂部区民センター
- 3 **目的** 救護所従事者の訓練及び「牧之原市医療救護計画・救護所マニュアル」の検証。
災害時医療（トリアージ）に対する市民の理解を深める。
- 4 **参加者** 三師会（医師会、歯科医師会及び薬剤師会に所属する牧之原市関係者）、行政（市救護班） 牧之原市災害時医療協力ボランティア、坂部区（患者役の住民、消防団 3 分団、日赤奉仕団等）
- 5 **特徴**
- (1) 坂部区民の皆様が患者役を担当する。
 - (2) 昨年度から募集した牧之原市災害時医療協力ボランティアの皆様が初めて、訓練に参加する。
 - (3) 訓練に参加する市の職員は、当日に役割分担を行うことにより、実践に近い形で実施する。
 - (4) 救護病院である榛原総合病院へ実際に搬送し、病院での防災訓練と連携する。
 - (5) 医療救護本部を市役所榛原庁舎に設置。救護所との情報伝達訓練を行う。

6 スケジュール（参考）

時間	予定
7:00	地震発生（震度 7）
7:03	大津波警報発令
7:10	大津波襲来
7:30	救護本部設置（榛原庁舎 5 F）
7:50	坂部区協力者、市職員参集
8:10	役割分担とミーティング
9:00	三師会、災害時医療協力ボランティア参集・ミーティング
9:15	全体ミーティング
9:45	救護所稼働 患者受付、トリアージ、処置、搬送、情報伝達訓練
11:15	終了：エリア別反省会
11:45	全体反省会
12:15	解散